

AXIS S3016 Recorder

パワフルなPoEスイッチを搭載した16チャンネルレコーダー

AXIS S3016 Recorderは、最大16台のPoE Class 4装置に対応するPoEスイッチを搭載した1Uラックレコーダーです。4台の監視グレードのハードドライブとさまざまなRAIDレベルを用いることで、信頼性の高い録画を実現します。この高性能レコーダーには、ネットワーク装置接続用のギガビットスイッチと、超高解像度のビデオ録画用の2.5ギガビットアップリンクが搭載されています。また、5年間の保証が付いています。また、単一サイトシステムでも複数サイトシステムでも、既存システムのストレージとネットワークの拡張に使用できます。さらに、AXIS Companionにも、AXIS Camera Stationのビデオ管理ソフトウェアとモバイルアプリにも対応しています。

> PoEスイッチを搭載したラックレコーダー

> 設置と操作が簡単

> 監視グレードのハードドライブ

> ビデオエクスポート用のUSBポート

> 5年保証



AXIS S3016 Recorder

バリエーション AXIS S3016 Recorder 8 TB
AXIS S3016 Recorder 16 TB
AXIS S3016 Recorder 32 TB

ハードウェア

プロセッサ	i.MX 8QuadMax
ストレージ	ホットスワップ可能な監視クラスHDD HDDスロット 総数: 4 空きHDDスロット: 0 8 TB すぐに利用可能なストレージ: RAID 5構成後で6 TB RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 8 TB (2 TB ×4) 16 TB すぐに利用可能なストレージ: RAID 5構成後で12 TB RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 16 TB (4 TB ×4) 32 TB すぐに利用可能なストレージ: RAID 5構成後で24 TB RAIDがない状態ですぐに使用可能な容量: 32 TB (8 TB ×4)
RAID	工場出荷時のRAIDレベル: 5 サポートするRAIDレベル: 0, 1, 5, 6, 10
スイッチ	搭載ポート数16、合計電源容量305 W Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3at Class 4
電力	最大650 W、305 W PoE専用 100~240 V AC、50~60 Hz
消費電力	(接続された装置の消費電力を除く) 通常消費電力 8 TB: 31 W 16 TB: 34 W 32 TB: 44 W 最大消費電力 8 TB: 37 W 16 TB: 41 W 32 TB: 49 W
コネクター	前面: USB 3.0 ×1 背面: PoE RJ45 1 Gbps ×16 AUX RJ45 2.5 Gbps ×1 LAN RJ45 2.5 Gbps ×1 LAN SFP 1 Gbps ×1 USB 2.0 ×1 電源コネクター ×1

ビデオ

録画	最大16のビデオソースに対応、録画の合計ビットレートは最大256メガビット/秒
ビデオ圧縮	H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC)、H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) カメラのサポートに応じて
解像度	すべてのカメラ解像度をサポート
フレームレート	すべてのカメラフレームレートをサポート

音声

音声ストリーミング	カメラのサポートに応じた単方向の音声録音
音声エンコーディング	AAC カメラのサポートに応じて

ネットワーク

ネットワークプロトコル	IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS、 a、HTTP/2、TLS ^a 、SFTP、SMTP、mDNS (Bonjour)、 UPnP ^o 、DNS/DNSv6、NTP、NTS、RTSP、TCP、UDP、 IGMPv1/v2/v3、ICMP、DHCPv4/v6、ARP、SSH、LLDP、 IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE 802.1AR
--------------------	--

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース	VAPIX [®] 、AXIS Camera Application Platform (ACAP) など、 ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については axis.com/developer-community を参照)。 ワンクリッククラウド接続
ビデオ管理システム	AXIS CompanionおよびAXIS Camera Station (axis.com/vms で 入手可能) に対応
イベントトリガー	ハードドライブエラー、ハードドライブ温度の警告、 CPU温度の警告、ファンのエラー、PoEの給電容量超過、 RAIDの警告

認証規格

製品のマーキング	UL/cUL、BIS、CE、VCCI、NOM、RCM
サブライチエーション	TAA準拠
EMC	EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-3-2、 EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2 オーストラリア/ニュージーランド: RCM AS/NZS CISPR 32 Class A カナダ: ICES-3(A)/NMB-3(A) 日本: VCCI Class A 米国: FCC Part 15 Subpart B Class A 台湾: CNS 15936
安全性	CAN/CSA C22.2 No. 62368-1、IEC/EN/UL 62368-1 ed. 3、 RCM AS/NZS 62368.1:2018、IS 13252
環境	IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、 IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、 IEC/EN 60529 IP20
ネットワーク	NIST SP500-267
サイバーセキュリティ	ETSI EN 303 645、FIPS 140
サイバーセキュリティ	
エッジセキュリティ	ソフトウェア: 署名付きファームウェア、ダイジェスト認 証、パスワード保護、AES-XTS-Plain64 256ビットハード ドライブ暗号化 ハードウェア: セキュアブート、Axis Edge VaultによるAxis 装置IDの保管、セキュアキーストア (暗号化操作、証明 書、キーのCC EAL4認定ハードウェア保護)、TPM 2.0 FIPS 140-2 level 2
ネットワークセキュリティ	IEEE 802.1X (EAP-TLS) ^a 、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS ^a 、TLS v1.2/v1.3 ^a 、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI
ドキュメント	<i>AXIS OS強化ガイド</i> <i>Axis脆弱性管理ポリシー</i> <i>Axisセキュリティ開発モデル</i> ドキュメントをダウンロードするには、 axis.com/support/cybersecurity/resources にアクセ スしてください。 Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細について は、 axis.com/cybersecurity にアクセスしてください。
一般	
対応デバイス	ファームウェア5.50以降のAxisの装置 AXIS Companionミニカメラおよびサードパーティ製カメラ はサポートされていません
ケーシング	スチール製ケーシング カラー: 黒NCS S 9000-N
形状	1Uラック EIA-310ラック対応
動作条件	温度: 0° C~45° C 湿度: 10~85% RH (結露不可)
保管条件	温度: -20° C~65° C 湿度: 5~90% RH (結露不可)
寸法	484 x 402 x 44.1 mm レールの最小深さ ^b : 398 mm 製品の設置深さ ^c : 377 mm レールの調整範囲 ^d : 376~499 mm
重量	8 TB: 10.24 kg 16 TB: 10.08 kg 32 TB: 10.68 kg
パッケージ内容	レコーダー、ラックレール、フロントカバー、ゴム脚、イ ンストールガイド、電源コード、ネジ
オプションアクセサリ	AXIS TS3901 Rail Extensions その他のアクセサリについては、 axis.com/products/axis-s3016 にアクセスしてください。
システムツール	AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセレ クター、アクセサリセレクター axis.com で入手可能

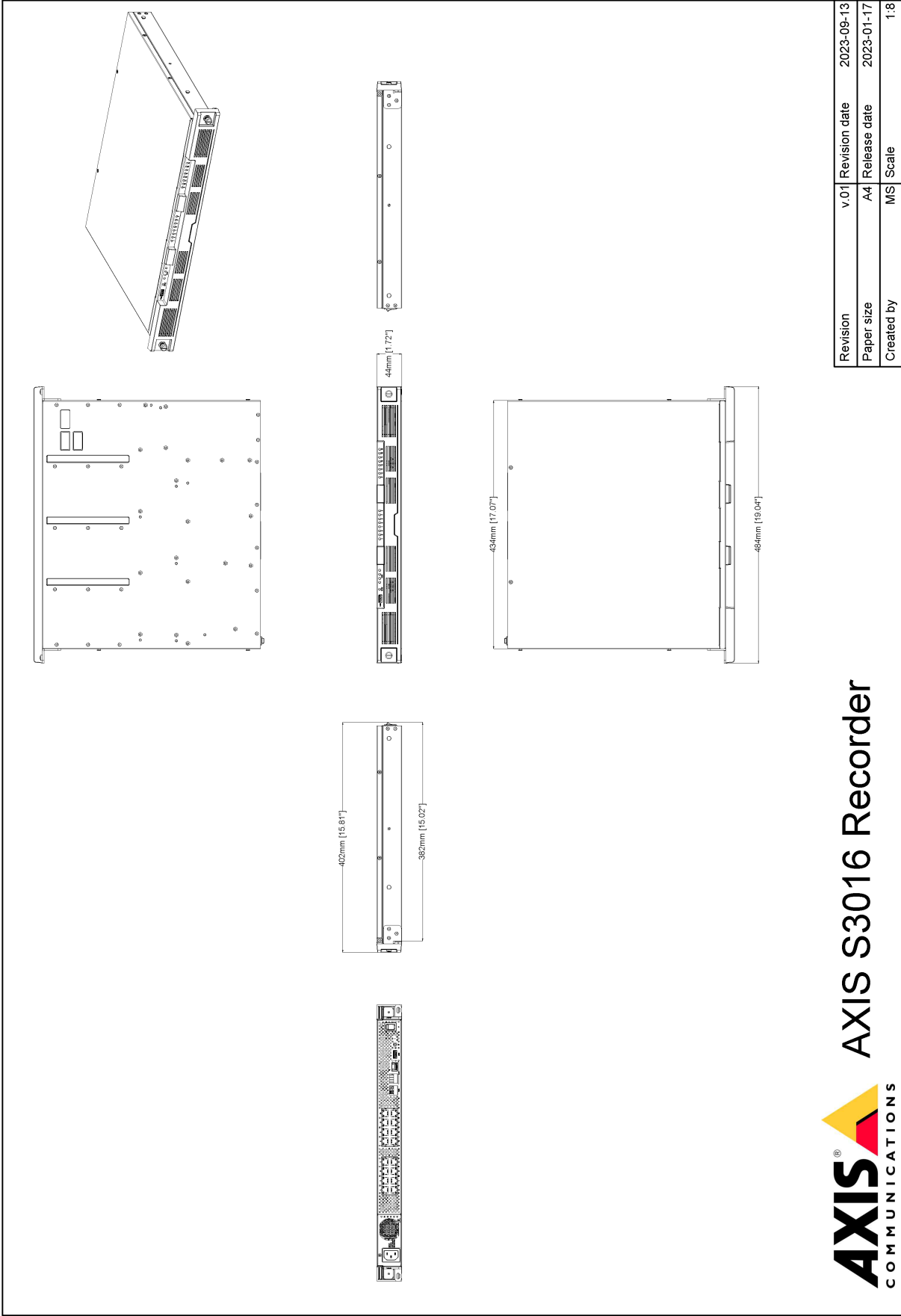
言語	英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語(簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語(繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語
保証	5年保証、 axis.com/warranty を参照
製品番号	axis.com/products/axis-s3016#part-numbers で入手可能
サステナビリティ	
物質管理	PVC不使用 RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018) に準拠 REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、 echa.europa.eu を参照

素材 再生可能な炭素系プラスチックの含有率: 63% (再生プラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任 axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については unglobalcompact.orgを参照)

- 本製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)*によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)*によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- フロントラックポストの外側の面からレールの端までを測定。
- フロントラックポストの外側の面から製品の背面までを測定。
- 前面と背面のラックポストの外側に面する面間の許容距離

寸法図面

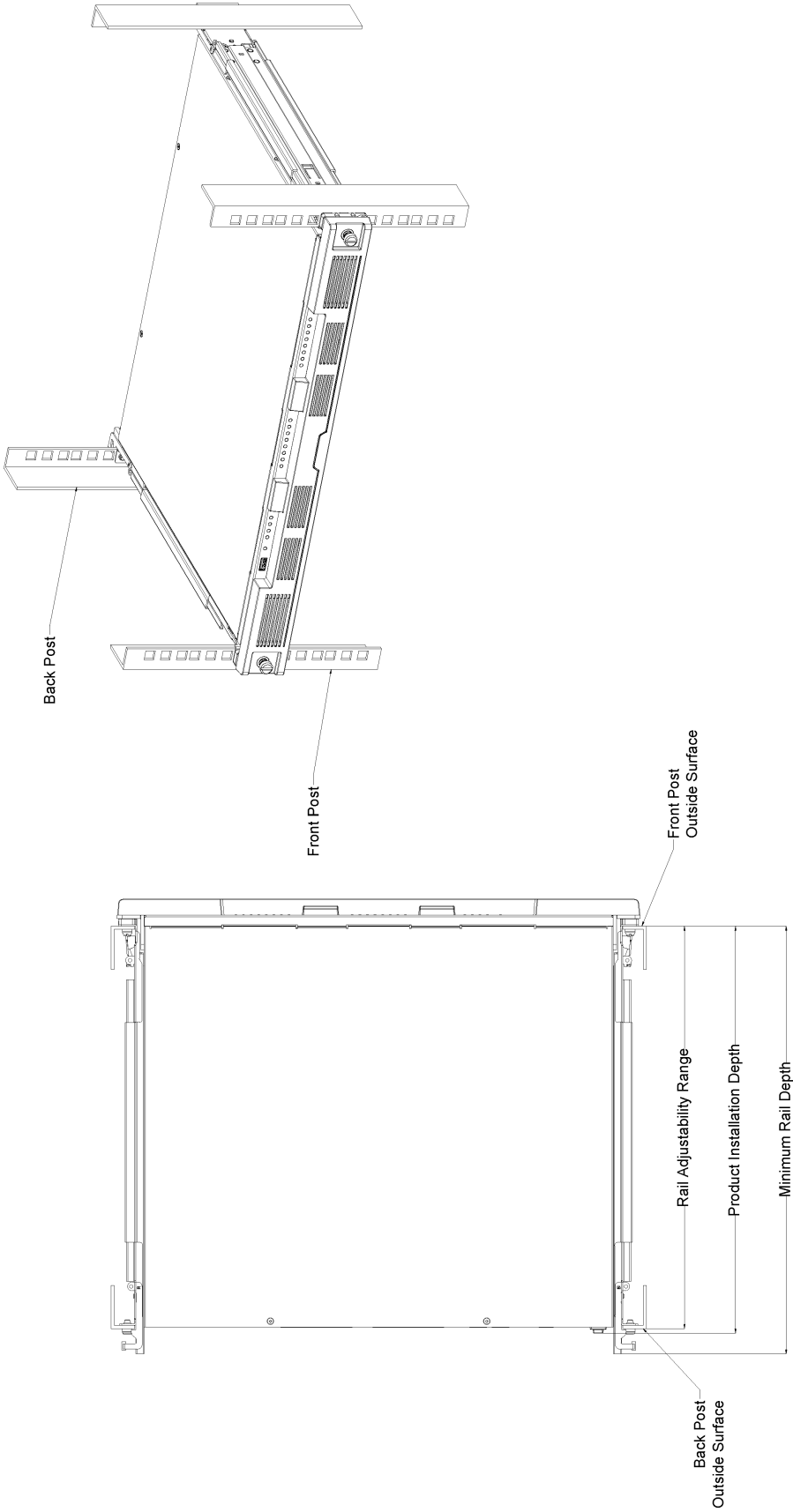


AXIS COMMUNICATIONS
AXIS S3016 Recorder

www.axis.com

Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-01-17
Created by	MS	Scale	1:8

© 2023 Axis Communications



AXIS COMMUNICATIONS **AXIS S3016 Recorder**

Revision	v.01	Revision date	2023-09-13
Paper size	A4	Release date	2023-09-13
Created by	MS	Scale	1:5

© 2023 Axis Communications

www.axis.com

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、工場からその完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。

信頼元の確立は、装置の起動プロセスから始まります。Axisの装置では、ハードウェアベースのメカニズムである**セキュアブート**が、装置の起動元のオペレーティングシステム (AXIS OS) を検証します。その結果、AXIS OSはビルドプロセス中に暗号で署名され、**署名付きファームウェア**となります。セキュアブートと署名付きファームウェアの組み合わせにより、装置のライフサイクル中にファームウェアが改ざんされていないこと、装置が承認されたファームウェアからのみ起動することが保証されます。これにより、すべてのセキュアな動作が依存する信頼の連鎖として、暗号技術で検証されたソフトウェアの連鎖が形成されます。

セキュリティの観点から、**セキュアキーストア**は、セキュアな通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、AxisデバイスID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアは、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。セキュリティ要件に応じて、Axisの装置は、TPM 2.0 (Trusted Platform Module) やセキュアエレメント、システムオンチップ (SoC) 内蔵のTrusted Execution Environment (TEE) などのモジュールを1つまたは複数搭載できます。

Axis Edge Vaultの詳細については、axis.com/solutions/edge-vault/にアクセスしてください。

詳細については、axis.com/glossary/を参照してください。